

# 令和 3 年度シラバス

# 実践研究科

科目名	コミュニケーション学				
科目区分	臨床基礎科目	講義回数	4 回	講師名	遠藤 千尋
講義概要	基本的コミュニケーション、医療コミュニケーションを学び柔道整復師として患者との接し方を修得する。				
講義目標	コミュニケーションの基礎を学ぶことにより、臨床現場において患者とのコミュニケーションを円滑に実施できる。				
講義内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「仕事の基本」</li> <li>②相手に好感を与える印象の作り方</li> <li>③伝える力を高める方法</li> <li>④専門家のコミュニケーション</li> <li>⑤顧客満足度向上 ～マーケティングとイノベーション～</li> <li>⑥クレーム対応術</li> <li>⑦スタッフ間のコミュニケーション</li> <li>⑧実践</li> </ul>				
備考					

科目名	集客・マーケティング論				
科目区分	臨床基礎科目	講義回数	8回	講師名	後藤 晃
講義概要	現代における最新のマーケティング論・集客論を総論・各論を通じて学ぶ。				
講義目標	現代における最新のマーケティング論・集客論を学び接骨院運営の現状を把握、理解することで将来の管理者としての能力の基礎を構築する。				
講義内容	①マーケティングとは何か ②企業におけるマーケティング ③環境分析と企業戦略 ④市場機会の発見 ⑤市場セグメンテーションとターゲティング ⑥ポジショニング～競争優位の構築～		⑦マーケティングミックス1 ⑧マーケティングミックス2 ⑨ブランディングの構築 ⑩集客手法 ⑪Webマーケティング ⑫出店マーケティング		
備考					

科目名	接骨院運営論																
科目区分	臨床基礎科目	講義回数	25 回	講師名	佐々木 俊尚												
講義概要	<p>整骨院の保険請求に関してを学ぶ。                  また、施術録に関して学ぶ。                  接骨院、整骨院の運営に必要な知識を学ぶ。</p>																
講義目標	<p>療養費制度を説明できる。                  現場で実践することができる。                  接骨院、整骨院スタッフとして経営を意識した振る舞いが出来る。                  売り上げ構成を理解し、売上向上に対する行動が出来る。</p>																
講義内容	<table border="0"> <tr> <td>①療養費制度とは</td> <td>⑦施術録実践</td> </tr> <tr> <td>②償還払いと受領委任払い</td> <td>⑧返戻対応</td> </tr> <tr> <td>③近接部位について</td> <td>⑨整骨院売り上げ構成</td> </tr> <tr> <td>④初検時加算について</td> <td>⑩問診に必要なもの</td> </tr> <tr> <td>⑤長期施術とは</td> <td>⑪オペレーションについて</td> </tr> <tr> <td>⑥施術録とは</td> <td>⑫その他</td> </tr> </table>					①療養費制度とは	⑦施術録実践	②償還払いと受領委任払い	⑧返戻対応	③近接部位について	⑨整骨院売り上げ構成	④初検時加算について	⑩問診に必要なもの	⑤長期施術とは	⑪オペレーションについて	⑥施術録とは	⑫その他
①療養費制度とは	⑦施術録実践																
②償還払いと受領委任払い	⑧返戻対応																
③近接部位について	⑨整骨院売り上げ構成																
④初検時加算について	⑩問診に必要なもの																
⑤長期施術とは	⑪オペレーションについて																
⑥施術録とは	⑫その他																
備考																	

科目名	社会保障制度				
科目区分	臨床基礎科目	講義回数	2回	講師名	佐々木 俊尚
講義概要	柔道整復師に関わる社会保障制度の知識を学ぶ。				
講義目標	主に高齢者の社会保障制度について理解し、現場に入った際には対象者、関係者に説明できるレベルを目標とする。				
講義内容	①介護保険とは*介護と支援について ②デイサービス、高齢者の介護保険				
備考					

# 令和 3 年度シラバス

# 実践研究科

科目名	医療過誤法				
科目区分	臨床基礎科目	講義回数	8 回	講師名	鈴木 孝昭
講義概要	柔道整復師・鍼灸師の業界を取り巻く環境は目まぐるしく変化を続けている。法律の面で適切な運営ができることを目的とする。				
講義目標	柔道整復師・鍼灸師にかかわる過去の事例を学びながら、将来トラブルにならないような知識を身につける。				
講義内容	①整骨院、接骨院総論		⑦		
	②法律入門		⑧		
	③倫理		⑨		
	④倫理と営業		⑩		
	⑤売買と営業		⑪		
	⑥総まとめ		⑫		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4コマはオンラインによる講義を予定</li> <li>・ 4コマは対面による講義を予定</li> </ul>				

# 令和 3 年度シラバス

# 実践研究科

科目名	薬学				
科目区分	臨床基礎科目	講義回数	2回	講師名	伊藤 菜美
講義概要	柔道整復師・鍼灸師が治療院で関わる可能性がある薬についての知識を得る。				
講義目標	最低限、知識が必要な薬の作用や副作用を理解し、治療トラブルを避けられることを目的とする。				
講義内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①医薬品、サプリメント総論</li> <li>②臨床で汎用される薬剤</li> <li>③漢方薬総論</li> <li>④臨床で汎用される漢方薬</li> </ul>				
備考	筆記用具				

# 令和 3 年度シラバス

# 実践研究科

科目名	インソール理論				
科目区分	臨床基礎科目	講義回数	4 回	講師名	有賀 靖浩
講義概要	近年、重要視されているインソールを通して足部の機能について学ぶ。				
講義目標	理論的に足部を理解し評価できることでインソールの理論を正しく修得する。				
講義内容	①インソールの歴史 ②足部解剖学 ③3つのアーチと役割 ④8つのロッカー機能 ⑤回内足と回外足 ⑥回内足と障害		⑦姿勢制御 ⑧インソールを用いて実習① ⑨インソールを用いて実習②		
備考					

科目名	サポーター理論				
科目区分	臨床基礎科目	講義回数	2回	講師名	佐々木 俊尚
講義概要	サポーターの効果と使い方について学ぶ。				
講義目標	実際の現場で症状に合ったサポーターを勧めることができる。				
講義内容	①サポーターの種類と効果 ②着用方法等				
備考					

# 令和 3 年度シラバス

# 実践研究科

科目名	基礎PT／PS学				
科目区分	臨床基礎科目	講義回数	8回	講師名	菊地 司
講義概要	パーソナルストレッチ、パーソナルトレーニングの概要を理解する。				
講義目標	ストレッチとトレーニングの理論を理解する。				
講義内容	①身体の機能構造（筋肉） ②身体の機能構造（ROM） ③ストレッチとは ④パーソナルストレッチとは ⑤トレーニングとは ⑥パーソナルトレーニングとは		⑦スポーツ栄養学 ⑧顧客対応～ソーシャルスタイル～		
備考					

# 令和 3 年度シラバス

# 実践研究科

科目名	バイオメカニクス／リハビリテーション医学				
科目区分	臨床基礎科目	講義回数	10回	講師名	大津 正久
講義概要	バイオメカニクスの理解し身体の運動連鎖から将来の怪我の予測・矯正を行うための土台作り。病院で実施されているリハビリテーションを把握することで理学療法士と柔道整復師・鍼灸師との医療へのかかわり方を紹介する。				
講義目標	バイオメカニクスの基礎を通じて身体の運動連鎖を理解でき、実際に患者を評価できる知識と技能を修得する。 病院で理学療法士がおこなっている運動器疾患に対するリハビリテーションを学び、接骨院で実践できる要素を模索、実施できる。				
講義内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①バイオメカニクスの基礎</li> <li>②運動と力学</li> <li>③走運動のバイオメカニクス</li> <li>④投運動のバイオメカニクス</li> <li>⑤跳運動のバイオメカニクス</li> <li>⑥各種障害におけるリハビリテーション</li> </ul>				
備考	・座学と実技による講義を想定するため動きやすい服装で受講すること。				

# 令和 3 年度シラバス

# 実践研究科

科目名	解剖生理学				
科目区分	臨床基礎科目	講義回数	8 回	講師名	菅野 貴宏 草刈 直貴
講義概要	臨床医学を修得する際、基礎医学の土台がしっかりと構築できているかが、臨床医学の習熟度・理解度に大きく関わる。本講義では実際の臨床医学を学ぶにおいて必要不可欠な解剖学・生理学の知識を整理する。				
講義目標	特に神経・運動器関連の知識を重点に深めて、柔道整復師・鍼灸師としての土台強化を目指す。				
講義内容	①中枢神経の機能（高次神経機能） ②末梢神経の形態と機能 ③筋収縮の仕組みとエネルギー代謝 ④神経回路（反射） ⑤運動とホルモン ⑥運動と呼吸 ⑦運動と循環				
備考					

# 令和 3 年度シラバス

# 実践研究科

科目名	東洋治療学理論				
科目区分	臨床基礎科目	講義回数	10回	講師名	樋口 勝広
講義概要	東洋医学の考え方に触れ、身体における反応点を学び、身体の反応・反射を生かし、より効率の良い、ストレッチや遠隔治療技術への応用理論を学ぶ。				
講義目標	反応点を学習し、反応点を用いてのストレッチや身体の反射、遠隔治療を学び、より効率の良い治療法を習得する。				
講義内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 身体の歪みとバランスについて</li> <li>② 身体の反応と反射について、反応点について</li> <li>③ 東洋医学的な考え方と病態について</li> <li>④ 自律神経及ぼす影響について</li> <li>⑤ 生体防御に及ぼす影響について</li> <li>⑥ 免疫系に及ぼす影響について</li> <li>⑦ サイバネティクス、フィードバック機構、ホメオスタシス、ストレス学説 レイリー現象、圧自律神経反射</li> </ul>				
備考					

科目名	鑑別診断学			
科目区分	臨床基礎科目	講義回数	6 回	講師名 古小高 朗浩 草刈 直貴
講義概要	<p>日常の施術業務において遭遇しうる疾患について、施術の可否を判断することは重要である。本講義では、柔整師・鍼灸師が判断を求められる可能性がある疾患について学習する。</p>			
講義目標	<p>疾患に対する適切な知識を習得し、医学的根拠に基づいた施術の可否を判断できる施術者を目指す。</p>			
講義内容	<p>①頭頸部の痛みやしびれと内科・神経疾患との鑑別                  ②背部の痛みやしびれと内科・神経疾患との鑑別                  ③上肢の痛みやしびれと内科・神経疾患との鑑別                  ④下肢の痛みやしびれと内科・神経疾患との鑑別                  ⑤頸部、肩部の痛みから想定すべき疾患と鑑別点                  ⑥腰痛から想定すべき疾患と鑑別点                  ⑦股関節部の疼痛から想定すべき疾患と鑑別点                  ⑧膝関節部の疼痛から想定すべき疾患と鑑別点</p>			
備考				

科目名	超音波画像診断学				
科目区分	臨床実践科目	講義回数	8 回	講師名	久保 聖史
講義概要	近年、注目度が上がっている超音波画像機器について、使用方法から描出のテクニックまで幅広く講義する。				
講義目標	柔道整復師・鍼灸師としてのより正確な施術のためのツールとして超音波画像機器を活用できる。				
講義内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①エコー基礎編</li> <li>②エコーで出来る事（自費系）</li> <li>③足首編</li> <li>④膝編</li> <li>⑤中間復習</li> <li>⑥手首編</li> <li>⑦肩編</li> <li>⑧総復習</li> </ul>				
備考	<p>エコー初心者向けに構成、VR（ヴァーチャル・リアリティ）も使います。</p> <p>※状況によっては講義の順番・内容を変更する場合があります。</p>				

# 令和 3 年度シラバス

# 実践研究科

科目名	スポーツ活法				
科目区分	臨床実践科目	講義回数	8回	講師名	小林 英健
講義概要	スポーツ活法の理論と実技を体験を通して学ぶ。				
講義目標	即効性のある施術技術の習得。				
講義内容	①スポーツ活法の歴史 ②胸椎に対するスポーツ活法 ③腰椎に対するスポーツ活法 ④頸椎に対するスポーツ活法 ⑤上肢に対するスポーツ活法 ⑥下肢に対するスポーツ活法 ⑦症例別スポーツ活法 ⑧症例別スポーツ活法				
備考	服装：トレーニングウェア（Tシャツ、ポロシャツ）				

科目名	トムソンベット療法				
科目区分	臨床実践科目	講義回数	8回	講師名	太田 裕司
講義概要	本場アメリカのDCのトムソンベット技術の習得				
講義目標	トムソンベットの知識と技術を習得し、現場で患者様の症状を取り除くことができるようになる。 現場で自費売上をしっかりと作れるようになる。				
講義内容	(座学)		(実技)		
	①トムソンベット基礎座学		①骨盤の矯正 (腸骨・仙骨)		
	②骨盤の4つのリスティング		②脊柱の矯正 (腰椎・胸椎・頸椎)		
	③脊柱の4つのリスティング		③四肢の矯正 (肩甲骨・肩関節・肩鎖関節・股関節)		
	④筋リスティング		④産後骨盤矯正		
	⑤骨盤脊柱の運動生理学				
備考	本授業実技を行いますので、白衣を着た参加をお願いいたします。				

# 令和 3 年度シラバス

# 実践研究科

科目名	スペシャルテスト法				
科目区分	臨床実践科目	講義回数	10回	講師名	菊地 司
講義概要	メジャーな徒手検査法を学ぶ。				
講義目標	メジャーな徒手検査方法を患者に実施できるレベル。				
講義内容	①徒手検査方法とは		⑦徒手検査法（股関節）		
	②徒手検査法（肩関節）		⑧徒手検査法（膝関節）		
	③徒手検査法（肘関節）		⑨徒手検査法（足関節）		
	④徒手検査法（手関節）		⑩徒手検査法（まとめ）		
	⑤徒手検査法（頸部）				
	⑥徒手検査法（体幹）				
備考					

# 令和 3 年度シラバス

# 実践研究科

科目名	スポーツトレーナー学				
科目区分	臨床実践科目	講義回数	8回	講師名	菊地 司
講義概要	柔道整復師、鍼灸師としてのトレーナー活動概要を学ぶ。				
講義目標	トレーナーとしての役割や活動を理解し、整骨院現場へ配属となった際に活動できるようにする。				
講義内容	①トレーナーとは ②トレーナー業務とは ③トレーナーバックの準備 ④外傷対応について ⑤障害対応について ⑥メディカルリハビリテーション		⑦アスレティックリハビリテーション ⑧トレーナー現場での症例1 ⑨トレーナー現場での症例2 ⑩トレーナー現場での症例3		
備考					

科目名	キネシオテーピング療法学				
科目区分	臨床実践科目	講義回数	10 回	講師名	半澤 優
講義概要	一般社団法人キネシオテーピング協会基礎講座を基本としながら臨床で実際に貼付している事例を交え、座学と実技を進めていく。				
講義目標	キネシオテーピング療法を学びながら、一般社団法人キネシオテーピング協会認定トレーナー（CKTT）を目指す。				
講義内容	①キネシオテーピングの歴史、体系 ②上肢に対するキネシオテーピング ③下肢に対するキネシオテーピング ④体幹に対するキネシオテーピング ⑤症例別キネシオテーピング法				
備考	本講義を受講すると自動的に一般会員（KTAM）となる。また資格試験に合格することで認定トレーナー（CKTT）になることが可能。（受験料別途5,500円） 持ち物：テーピング用はさみ 服装：なるべく上肢下肢が露出できる服装				

# 令和 3 年度シラバス

# 実践研究科

科目名	応用PT／PS学				
科目区分	臨床実践科目	講義回数	8回	講師名	大村 裕
講義概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部に対してのストレッチの習得</li> <li>・トレーニングの実践および指導</li> </ul>				
講義目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能解剖学を理解し、ターゲット筋に対しストレッチを行えるよう学ぶ</li> <li>・トレーニングの効果とリスクを理解し、目的に応じたトレーニングを選択できるよう学ぶ</li> </ul>				
講義内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ストレッチについて</li> <li>②ストレッチ実技①</li> <li>③ストレッチ実技②</li> <li>④ストレッチ実技③</li> <li>⑤パーソナルトレーニングについて</li> <li>⑥トレーニング実技①</li> <li>⑦トレーニング実技②</li> <li>⑧トレーニング実技③</li> </ul>				
備考	本講義は、実技を主とするため、ジャージ等の運動可能な服装で行う。				

科目名	介護予防学				
科目区分	臨床実践科目	講義回数	24 回	講師名	佐々木 俊尚 菊地 司
講義概要	柔道整復師ができる介護予防について学ぶ。				
講義目標	介護予防運動指導員の資格を取得し、整骨院やデイサービスの現場でいかせるようにする。				
講義内容	①老年学、介護予防概論                      ⑨高齢者筋力向上トレーニング実習                      ⑰口腔機能向上特論 ②地域づくりによる介護予防概論                      ⑩高齢者筋力向上トレーニング実習                      ⑱口腔機能向上実習 ③行動科学特論    ⑪高齢者筋力向上トレーニング実習                      ⑲フレイル、サルコペニア、うつ ④介護と某評価学特論                                      ⑫転倒予防学特論    ⑳認知症予防特論 ⑤介護予防評価学実習                                      ⑬転倒予防実習    ㉑認知症予防実習 ⑥介護予防統計学    ⑭尿失禁予防特論    ㉒講義総復習 ⑦リスクマネジメント                                      ⑮尿失禁予防実習    ㉓実技総復習 ⑧高齢者筋力向上トレーニング特論                      ⑯高齢者栄養改善活動    ㉔修了試験				
備考					

# 令和 3 年度シラバス

# 実践研究科

科目名	臨床評価学				
科目区分	臨床実践科目	講義回数	8 回	講師名	古小高 朗浩 鈴木 美加
講義概要	本講義では、日常の施術において高頻度で実施される種々の評価法を学ぶ。また評価を基に実施されるトレーニングやエクササイズについても学習する。				
講義目標	臨床において被験者を正しく評価でき、適切な指導を提案できる施術者を目指す。				
講義内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ストレッチングの実際</li> <li>②筋力トレーニングの実際</li> <li>③具体的症例に基づく運動療法</li> <li>④各種身体評価法</li> </ul>				
備考					

# 令和 3 年度シラバス

# 実践研究科

科目名	美容鍼灸学				
科目区分	臨床実践科目	講義回数	8 回	講師名	川辺 なお／新井 杏奈
講義概要	美容鍼灸院の運営に必要な知識を学ぶ。 実際に美容鍼を打てるようになる。				
講義目標	接客や知識を含む、美容鍼の基礎を習得することができる。 (来店から退店まで)				
講義内容	①会社紹介/美容鍼とは ②美容知識～入門～ ③タオルワーク/消毒の仕方/ 美容家としての立ち居振る舞い/リスク管理 ④実践 ⑤講師自己紹介/振り返り		⑥顔の触れ方/美容液の塗り方/肌の診方 ⑦顔の鍼実技・デモンストレーション ⑧一連の実践 ⑩ ⑪ ⑫		
備考	9月19日(日) : 【講師】新井 10月17日(日) : 【講師】川辺				

科目名	東洋治療学実技				
科目区分	臨床実践科目	講義回数	10 回	講師名	樋口 勝広
講義概要	東洋医学の考え方に触れ、身体における反応点を学び、身体の反応・反射を生かし、より効率の良い、ストレッチや遠隔治療技術への応用を学ぶ。				
講義目標	反応点を学習し、反応点を用いてのストレッチや身体の反射、遠隔治療を学び、より効率の良い治療への技術を習得する。				
講義内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 身体の歪みとバランスについて</li> <li>② 身体の反応と反射について</li> <li>③ 皮電点と経穴について</li> <li>④ 上肢・下肢・体幹・頭部顔面部の歪みとその治療について</li> </ul>				
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習時間の服装は原則白衣とする。</li> <li>・施術の際にバスタオル（3）、フェイスタオル（1）を使用する事があるので準備する事。</li> </ul>				



科目名	臨床治療学Ⅱ				
科目区分	臨床実践科目	講義回数	10 回	講師名	大村 裕
講義概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手技療法の理解</li> <li>・ 基本手技の習得</li> </ul>				
講義目標	解剖学を理解し、各部に對し的確に手技が行えるよう学ぶ				
講義内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①基本手技について</li> <li>②基本手技(基礎)</li> <li>③各部の手技(腰部)</li> <li>④各部の手技(臀部)</li> <li>⑤各部の手技(下肢)</li> <li>⑥各部の手技(肩背部)</li> <li>⑦各部の手技(上肢)</li> <li>⑧各部の手技(頸部)</li> <li>⑨各部の手技(頭部)</li> <li>⑩応用手技</li> </ul>				
備考	本講義は、実技を主とするため、白衣および半袖ハーフパンツ等の服装で行う。大判タオル、フェイスタオルを各自持参すること。				

科目名	臨床治療学Ⅲ						
科目区分	臨床実践科目	講義回数	12 回	講師名	大村 裕		
講義概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外傷および障害についての理解を深める</li> <li>・ 病態に沿った手技</li> </ul>						
講義目標	現場での症例から外傷・障害の理解を深め、病態に沿った治療手技の習得						
講義内容	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">                     ①症例①考察(肩部)                      ②症例①実技                      ③症例②考察(肘部)                      ④症例②実技                      ⑤症例③考察(膝部)                      ⑥症例③実技                      ⑦症例④考察(足部)                      ⑧症例④実技                 </td> <td style="width: 50%; border: none;">                     ⑨症例⑤考察(腰部)                      ⑩症例⑤実技                      ⑪症例⑥考察(頸部)                      ⑫症例⑥実技                 </td> </tr> </table>					①症例①考察(肩部) ②症例①実技 ③症例②考察(肘部) ④症例②実技 ⑤症例③考察(膝部) ⑥症例③実技 ⑦症例④考察(足部) ⑧症例④実技	⑨症例⑤考察(腰部) ⑩症例⑤実技 ⑪症例⑥考察(頸部) ⑫症例⑥実技
①症例①考察(肩部) ②症例①実技 ③症例②考察(肘部) ④症例②実技 ⑤症例③考察(膝部) ⑥症例③実技 ⑦症例④考察(足部) ⑧症例④実技	⑨症例⑤考察(腰部) ⑩症例⑤実技 ⑪症例⑥考察(頸部) ⑫症例⑥実技						
備考	本講義は、実技を主とするため、白衣および半袖ハーフパンツ等の服装で行う。大判タオル、フェイスタオルを各自持参すること。						

科目名	臨床治療学Ⅳ				
科目区分	臨床実践科目	講義回数	8 回	講師名	津田 新吾
講義概要	運動器疾患に対する様々な考え方を系統的に学ぶ。				
講義目標	根拠のある機能診断・治療を行うため系統的な知識と根拠に基づいた仮説の立案、評価手順を身につけます。また障害組織に合わせた治療手技の選択と実践能力を高める事を目標とします。				
講義内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①世界の徒手医学</li> <li>②ノルディックシステムの基本</li> <li>②股関節の機能解剖学と評価・治療</li> <li>④膝関節の機能解剖学と評価・治療</li> <li>⑤足関節の機能解剖学と評価・治療</li> <li>⑥肩関節の機能解剖学と評価・治療</li> <li>⑦神経絞扼症候群と評価・治療</li> <li>⑧運動器疼痛のマネジメント</li> </ul>				
備考					

科目名	臨床治療学 V																
科目区分	臨床実践科目	講義回数	8 回	講師名	石橋 直												
講義概要	臨床において治療する機会の多い疾患に対する鑑別と治療法について学ぶ。																
講義目標	この講義の終了時には整骨院の現場において最低限の治療に従事できる先生になれる事を目標に取り組みます。(内容については整骨院に多く来院される疾患の見分けと対応を中心に組み立てました)																
講義内容	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">①腰部 1 (腰痛の鑑別診断と治療法)</td> <td style="width: 50%;">⑦股関節 (股関節炎・変形疾患 等)</td> </tr> <tr> <td>②腰部 2 (腰痛の鑑別診断と治療法)</td> <td>⑧膝関節 (半月板損傷・靭帯損傷・変形疾患 等)</td> </tr> <tr> <td>③頸部 1 (頸部痛の鑑別診断と治療法)</td> <td>⑨足関節 (足関節捻挫の場所と固定法)</td> </tr> <tr> <td>④頸部 2 (頸部痛の鑑別診断と治療法)</td> <td>⑩各部位のおさらいと質問等</td> </tr> <tr> <td colspan="2">⑤肩関節 1 (肩部痛の鑑別診断と治療法)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">⑥肩関節 2 (肩関節脱臼 (整復と経過) インピンジメント症候群・肩関節周囲炎 等)</td> </tr> </table>					①腰部 1 (腰痛の鑑別診断と治療法)	⑦股関節 (股関節炎・変形疾患 等)	②腰部 2 (腰痛の鑑別診断と治療法)	⑧膝関節 (半月板損傷・靭帯損傷・変形疾患 等)	③頸部 1 (頸部痛の鑑別診断と治療法)	⑨足関節 (足関節捻挫の場所と固定法)	④頸部 2 (頸部痛の鑑別診断と治療法)	⑩各部位のおさらいと質問等	⑤肩関節 1 (肩部痛の鑑別診断と治療法)		⑥肩関節 2 (肩関節脱臼 (整復と経過) インピンジメント症候群・肩関節周囲炎 等)	
①腰部 1 (腰痛の鑑別診断と治療法)	⑦股関節 (股関節炎・変形疾患 等)																
②腰部 2 (腰痛の鑑別診断と治療法)	⑧膝関節 (半月板損傷・靭帯損傷・変形疾患 等)																
③頸部 1 (頸部痛の鑑別診断と治療法)	⑨足関節 (足関節捻挫の場所と固定法)																
④頸部 2 (頸部痛の鑑別診断と治療法)	⑩各部位のおさらいと質問等																
⑤肩関節 1 (肩部痛の鑑別診断と治療法)																	
⑥肩関節 2 (肩関節脱臼 (整復と経過) インピンジメント症候群・肩関節周囲炎 等)																	
備考																	

科目名	臨床治療学Ⅵ						
科目区分	臨床実践科目	講義回数	8 回	講師名	道白 大輔		
講義概要	筋膜療法（Fasciaリリース）の基本・現場で使える臨床例の紹介。 症状の評価・アプローチの仕方。						
講義目標	Fasciaリリースの基本的な考えを学び、実際の症例に対しても自ら工夫してアプローチ・症状の緩和を目指せるまでを習得することを目標とする。						
講義内容	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     ①筋膜療法の考え方・施術理念等                      ②体幹の筋に対するアプローチ                      ③頸部の筋に対する評価                      ④頸部の筋に対するアプローチ                      ⑤上肢の筋に対する評価                      ⑥上肢の筋に対するアプローチ                 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     ⑦下肢の筋に対する評価                      ⑧下肢の筋に対するアプローチ                      ⑨症状別のアプローチ①                      ⑩症状別のアプローチ②                 </td> </tr> </table>					①筋膜療法の考え方・施術理念等 ②体幹の筋に対するアプローチ ③頸部の筋に対する評価 ④頸部の筋に対するアプローチ ⑤上肢の筋に対する評価 ⑥上肢の筋に対するアプローチ	⑦下肢の筋に対する評価 ⑧下肢の筋に対するアプローチ ⑨症状別のアプローチ① ⑩症状別のアプローチ②
①筋膜療法の考え方・施術理念等 ②体幹の筋に対するアプローチ ③頸部の筋に対する評価 ④頸部の筋に対するアプローチ ⑤上肢の筋に対する評価 ⑥上肢の筋に対するアプローチ	⑦下肢の筋に対する評価 ⑧下肢の筋に対するアプローチ ⑨症状別のアプローチ① ⑩症状別のアプローチ②						
備考	ジャージ等の動きやすく、上肢下肢が露出できる服装でお願いします。						

科目名	臨床固定学 I				
科目区分	臨床実践科目	講義回数	8 回	講師名	大榎 良則
講義概要	柔道整復師として必要な固定の技術【ギプスシーネ・キャスト固定】を講義・実践する。				
講義目標	臨床の現場で適切にギプスを施行でき、良好な治癒環境を保持できる知識と技術の基礎を修得する。				
講義内容	<p>①固定の臨床的意味と固定によるメリット・医師連携のコツ ⑦手関節・指関節軟部組織損傷鑑別法とキャスト固定</p> <p>②下肢編 骨折鑑別法・医師対診用足関節ギプスシーネ固定 ⑧肩関節脱臼・肩鎖関節脱臼・鎖骨骨折の整復法～固定法</p> <p>③足関節軟部組織損傷鑑別法とエコーと固定の流れ ⑨膝関節スペシャルテスト・膝関節シーネ固定法・シリンダーキャスト固定法</p> <p>④接骨院保存療法足関節荷重キャスト固定法</p> <p>⑤手関節骨折鑑別法と整復固定の流れ 症例報告</p> <p>⑥上肢編 肘関節・手関節・指関節ギプスシーネ固定法</p>				
備考	ゲレンデ700件の整復固定実績から学ぶ応急処置から大学病院と同じクオリティの外傷保存療キャスト固定術のすべてを網羅しています。外傷保存療法最高峰・最強の療法を学んでください。				

科目名	臨床固定学Ⅱ						
科目区分	臨床実践科目	講義回数	12 回	講師名	大村 裕		
講義概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 治療現場で遭遇しやすい疾患の固定を学ぶ</li> <li>・ 運動器疾患におけるテーピングによる固定を学ぶ</li> </ul>						
講義目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能解剖学を理解し、目的に沿った効果的なテーピングを習得する。</li> </ul>						
講義内容	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>①テーピングの理論</li> <li>②基本テーピング</li> <li>③各部のテーピング(足関節①)</li> <li>④各部のテーピング(足関節②)</li> <li>⑤各部のテーピング(膝関節①)</li> <li>⑥各部のテーピング(膝関節②)</li> <li>⑦各部のテーピング(肘関節①)</li> <li>⑧各部のテーピング(肘関節②)</li> </ul> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑨各部のテーピング(肩関節①)</li> <li>⑩各部のテーピング(肩関節②)</li> <li>⑪各部のテーピング(手部、足底部)</li> <li>⑫各部のテーピング(下腿部、大腿部)</li> </ul> </td> </tr> </table>					<ul style="list-style-type: none"> <li>①テーピングの理論</li> <li>②基本テーピング</li> <li>③各部のテーピング(足関節①)</li> <li>④各部のテーピング(足関節②)</li> <li>⑤各部のテーピング(膝関節①)</li> <li>⑥各部のテーピング(膝関節②)</li> <li>⑦各部のテーピング(肘関節①)</li> <li>⑧各部のテーピング(肘関節②)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑨各部のテーピング(肩関節①)</li> <li>⑩各部のテーピング(肩関節②)</li> <li>⑪各部のテーピング(手部、足底部)</li> <li>⑫各部のテーピング(下腿部、大腿部)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>①テーピングの理論</li> <li>②基本テーピング</li> <li>③各部のテーピング(足関節①)</li> <li>④各部のテーピング(足関節②)</li> <li>⑤各部のテーピング(膝関節①)</li> <li>⑥各部のテーピング(膝関節②)</li> <li>⑦各部のテーピング(肘関節①)</li> <li>⑧各部のテーピング(肘関節②)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑨各部のテーピング(肩関節①)</li> <li>⑩各部のテーピング(肩関節②)</li> <li>⑪各部のテーピング(手部、足底部)</li> <li>⑫各部のテーピング(下腿部、大腿部)</li> </ul>						
備考	<p>本講義は、実技を主とするため、白衣やジャージ等の患部を露出できる服装にて行う。</p>						

科目名	臨床固定学Ⅲ				
科目区分	臨床実践科目	講義回数	8 回	講師名	尾藤 何時夢
講義概要	柔道整復術の根幹にある、外傷の手当を学び、理論に基づく柔道整復固定法の部位別臨床実践を学ぶ。				
講義目標	柔道整復施術所に来院される、骨折、脱臼、軟部組織損傷の施術の際に使用される各種固定材料の扱い方、使用方法を習得することで、臨床現場において適切に施術を行うことができるようになる。				
講義内容	<p>①固定材料の扱い方Ⅰギブス（プライトン）による手指部損傷、足趾部損傷の固定法（包帯固定も含む）</p> <p>②固定材料の扱い方Ⅱギブス（プライトン）による足関節捻挫および腓骨外果部の不全骨折等の固定法（包帯固定も含む）</p> <p>③固定材料の扱い方Ⅲ 金属副子の作成方法と金属副子を用いたコーレス・スミス骨折の固定法と固定肢位の考察Ⅰ</p> <p>④固定材料の扱い方Ⅳ金属副子の作成方法と金属副子を用いたコーレス・スミス骨折の固定法と固定肢位の考察Ⅱ</p> <p>⑤固定材料の扱い方Ⅴ合成樹脂ギブス（キャストライト）によるシャーレーギブスの作成方法と下腿部骨折の固定法（包帯固定も含む）</p> <p>⑥固定材料の扱い方Ⅵ合成樹脂ギブス（キャストライト）によるシャーレーギブスの作成方法と下腿部骨折の固定法（包帯固定も含む）Ⅱ</p> <p>⑦肩鎖関節脱臼（Ⅰ度と陳旧性）や肩関節運動時の異音に対する、日常生活に支障のない方法を用いての絆創膏（テーピング）固定法（伸縮テープ）</p> <p>⑧総括（外傷施術の手順等について）</p>				
備考					

# 令和 3 年度シラバス

# 実践研究科

科目名	臨床研修																			
科目区分	臨床実践科目	講義回数	8回	講師名																
講義概要	骨折、脱臼について実際の症例を通して患部の状態や診察について学ぶ。																			
講義目標	骨折、脱臼の鑑別ができる。 グレンデで頻発する骨折、脱臼の整復法、固定法ができるようになる。																			
講義内容	①骨折とは	②脱臼とは	③グレンデ接骨院に多い症例	④コーレス骨折とは	⑤肩関節脱臼とは	⑥鎖骨骨折とは	⑦肘関節後方脱臼とは	⑧コーレス骨折の整復	⑨コーレス骨折の固定	⑩肩関節脱臼の整復	⑪肩関節脱臼の固定	⑫鎖骨骨折の整復	⑬鎖骨骨折の固定	⑭肘関節後方脱臼の整復	⑮肘関節後方脱臼の固定	⑯その他骨折、脱臼、軟損への対応例	⑰各種骨折、脱臼対応ロープレ1	⑱各種骨折、脱臼対応ロープレ2	⑲各種骨折、脱臼対応ロープレ3	⑳各種骨折、脱臼対応ロープレ4
備考																				